

【これからのインテリアデザイナーの役割】

JID関東事業支部研究活動委員会 SI研究部会

部会リーダー：白石 勝彦

石造やレンガ造が多いヨーロッパの半永久的な建築では、日本のように経済的な理由からスクラップ&ビルド方式で建て替えるのでは無く、外壁や躯体を残したままインテリアを機能の変化に対応させる方式が、歴史的に受け継がれています。このような仕事をするのがインテリアアーキテクト（室内建築家）という職能です。

昨今、都心では高層ビルの建設が多く見られますが、オフィスとしてのニーズは飽和状態であるため古いオフィスビルをマンションへ用途変更（コンバージョン）することが話題になっています。

住居としてのマンションの機能は、オフィスの計画と異なり日常生活に基づいて、そこに生活する人の要求を満足させて、住み心地の良い住居に仕上げるなど、より複雑な要素を含んでいます。

スケルトンの構造・設備などの〈ハード〉な知識と、インフィルを機能性、快適性などの〈ソフト〉な感覚を駆使して空間の創造するのがインテリアアーキテクト（室内建築家）の仕事です。

これからのインテリアデザイナーの新しい分野として社会に貢献するのが我々の役割と考えます。

SI研究部会は、半永久的なスケルトンの中に、機能に対応したインフィルを創造する方策を模索・研究することを目的にして今年度から発足しました。

今年度は、SI住宅に関連する各分野の情報の収集を主な活動としています。来年度以降には、モジュール、内装システム、SIに適応する機器などの〈ハード〉なシステムの提案・開発を行い、また想定したスケルトンに対する具体的なインフィルの〈ソフト〉な提案・計画をまとめ、その出版と発表の場を設ける計画です。

SI研究部会のメンバーは、関東事業支部に限らず、関西・中部・東北などの関心のある方から、メールなどを通じて全国的な情報の交換をしています。

このような活動にご興味をお持ちの皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

メールでのお問い合わせは、下記情報担当まで……

SI研究部会：岡部文絵（du3f-okb@asahi-net.or.jp）

今までの研究活動は、下記のようなSI住宅に関連する各種セミナー研究発表などに参加すると共に関連資料の収集等を行ってきました。

参加セミナー

2002年10月29日 すまいるホールにて

「団地再生のすすめ」出版記念セミナー

主催 団地再生研究会

JID NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

2003

1・2

No.220

「目次」

● インテリアデザイナーの役割	1
● APSDA MANILA報告	2
● 平成14年度第3回理事会報告	4
● 平成14年度第4回理事会報告	6
● 平成14年度第5回理事会報告	8
● JID NEWS 関東	11
● JID NEWS 中部	13
● JID NEWS 関西	14
● 新入会員の紹介	15

2002年10月29日 すまいるホールにて

「コンバージョンによる都市再生」

主催 都市空間有効活用技術研究会

2002年12月20日 すまいるホールにて

「長期耐用都市型集合住宅の建設 再生技術の開発」

主催 国土交通省（建集研究所住宅研究所）

収集資料

「KEPシステムカタログ」	（1981年）
「モデューラーコーディネーション」	（1981年）
「可変内装システムに関するビデオ」	（1984年）
「ビル・リニューアル指針」	（建設省）
「KSI住宅に関する五つの研究」	（都市整備公団）
「住戸単位の合理的な生産・施工技術の開発に関する検討」	（建築研究所）
「コンバージョンによる都市再生」	（都市空間有効活用技術研究会）
「団地再生のすすめ」	（団地再生研究会）

本紙前219号に掲載いたしました“APSDA MANILA
報告書の文中に多数の校正ミスをおかし、執筆者及び読
者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしました。訂正のうえ
全文再掲載いたしました。(JID NEWS 編集)

APSDA MANILA総会報告

国際委員長 中川 帛子

APSDA MANILA総会と国際会議が10月3日から6日
の日程でフィリピンのマニラ市で開催され、国際委員長
の中川帛子と交流委員長の坂本和正氏、自由参加の前理
事長泉修二さんの3名が参加しました。

会場はマニラ湾に面したコンベンションセンターで
す。開会に先立ち、APSDAと同時開催されるフィリピン
のインテリア産業関連展覧会オープニングがあり、国
家斉唱の後、ドラをならして開会が宣言されました。会
場には日本に家具を輸出している企業や欧米のインテリア
エレメントの展示など、見慣れた展示風景でした。

総会報告

総会は初日の午後から同会場で開催され、APSDA会
員10団体（オーストラリア、台湾、香港、インドネシ
ア、日本商環境設計家協会、JID、マニラ、フィリピン、
シンガポール）が出席、インド、ニュージーランド、タ
イは欠席でした。恒例により、APSDA総会開催国PIID
の会長が議長となり、下記の3議題を中心に討議を行
いました。

1. メンバー協会の活動報告
2. APSDA定款の改定の提案
3. APSDA事務局の提案

会員協会の活動報告：印象的な報告をまとめますと



マニラホテルでの歓迎ディナー 泉さん、中川、坂本さん

○台湾：中国市場を視野に入れた活動を重視。
“HEADING FOR Shanghi Interior Design Seminar”を開
催した。

○JCD（会員数500人）：報酬基準の作成中。恒例の秀
作デザイン賞の選定と表彰を継続し高い評価を受けてい
る。

○韓国（600人）：2007年にIFI総会の開催国に名乗り
上げる予定であること。イベント“Living News 21
Sung Nam”の成功でインテリアデザインにたいする社
会の関心が高まり、来年も継続開催する予定であること。
○オーストラリア（750人）：創立50年の歴史を閉じ2
大デザイン団体が統合し、国レベルの団体“Design
Institute of Australis”に生まれ変わった。

○香港：The Business of Design Institute of Weekを9月
に開催し世界78ヶ国からのスピーカー招聘。成功と高
い関心を集めることができた。又、デザイン4団体が連
合し、香港デザインセンターの所属会社として登録した。

○インド（2431人）：2003年にIFI総会を主催する。

○JID（541人）：国際レベルの活動としてIPEC 21での
国際フォーラムの企画主催、上海でのMY CHAIR企画、
情報活動として企画出版（インテリアデザイナーの仕事、
FROM JID)の紹介、展覧会やJID賞の紹介をした。

○マレーシア（230人）：インテリアデザイン教育の振
興を目的にMSIDインテリアデザイン教育会議を設立。
又MSIDを職能団体としての法的認知を得るための運動
を継続しており、労働大臣からの強力な支持の言葉を取
り付けた。インテリアデザインの業務及び報酬基準ガイ
ドラインの制作を開始。

○フィリピン（245人）：1981年にインテリアデザ
イン条例が国会を通過して以来、公共建築の建設、歴史遺
産建築の修復等の企画、設計にあたってはそれらの企画
会議には必ずインテリアデザイナーを加えることになっ
た。PIIDの企画でインテリアデザイン教育者会議を組織
し、インテリアデザインコースを設けている学校のカリ
キュラムの見直しを行い、またインテリアデザインコース
を有する全ての学校がインテリアデザイン科学士を授与
することになった。

○シンガポール：会員の交流と親睦を活動の中心にし
て団体のように、ゴルフ大会や会員晩餐会が年間をとう
して行われている。デザイン賞の授与なども企画されてい



総会会場にて 泉さん、坂本さん、中川

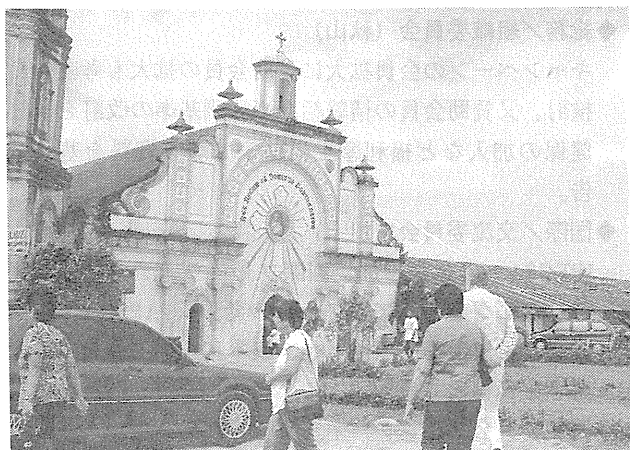
る。

第2項の議題は固定事務局の設定と議長国に関する条項の改定案なので、第3の議題、事務局設置の提案と一緒に討議することになり、議長は各国の代表から意見を求めた。APSDA創立団体の一つである日本商施設設計家協会JCDは会費の設定を伴う事務局設置の前にすべきこととして、ITを駆使して会員相互の意見交換を行い、メンバー団体のホームページ上に情報を公開し会員相互の自由な交流をはかり、また委員会などの設置によるインターネット上で定期的に共通テーマで検討できるシステム作りを提案した。

フィリピン協会は今回のAPSDA総会開催準備の為に設置した事務局をそのままAPSDAの事務局に提供する用意が有り、廉価な維持管理費で利用できる条件をビルのオーナーから取り付けている旨の申し出があった。討議半ばで、この問題はただちに議決できる問題ではないので、創立3団体を含む7委員からの代表で構成する小委員会を作り、より詳細に検討してはとの提案があり、賛成多数で承認され、参加メンバーの人選が行われた。JIDの中川も推薦されたが、7委員の中にはすでに創立団体のJCDがいるので、広く各国の意見を反映した方がいいとの考えから委員を辞退し、代わりにオーストラリアを推薦、7代表が決まった。(JCD、韓国、台湾、マレーシア、香港、フィリピン、オーストラリア)。小委員会は最終日に同所で開催されたが、結果についてはいずれ報告が来ることになっている。したがって、今総会での決議はこの小委員会設定と、代表者欠席のままニュージーランド協会の新加盟が承認されたことのみとなり、最後に2004年に香港で開催決定のAPSDA会議のプレゼンテーションを香港代表が行い、総会は開幕した。

国際会議報告

初日の歓迎晩餐会会場は見るからに由緒有り気なマニラホテルで、聞くところによると戦後マッカーサーが接收していたホテルだとのこと。国家斉唱を聞いて着席、歓迎と来賓の挨拶のあとAPSDA開催スポンサーのプレゼンテーションが延々で行われたのには正直少し驚きましたが、スポンサーもこうした晴れの舞台で自社のプレ



火山灰に埋もれ、地面が教会の窓まで上ってしまった教会



バンバンが市の家具工場で オーストラリア、韓国、スウェーデン、日本の仲間たちと工場の中庭で

ゼンテーションの時間をもらえればお金の出甲斐がいまであろうといたく感心し、JIDも賛助会員とのお付き合いについては学ぶべきことがあるように感じたりもしました。各テーブルにも配慮があるようで、賛助会員が均等に着席しているようでした。我々の席にも家具メーカー2社が同席、1社は日曜日の工場見学を提供してくれるメーカーでした。

初日会議の基調講演をIFI理事長のOLLE ANDERSON氏が行い300人ほどの出席者を前に、IFIが現在掲げている、社会に役立つデザインdesign for the worldの理念を話し、デザイン教育のレベルを向上させる為に各国政府に働きかけ、政府のお金でデザイン教育のプログラムを推進するべきと述べました。民意で行政が動き、国民が満足できる社会の実現に成功しているように見受けられるスウェーデン人の思考を興味深く感じました。2日目の講演では、JCDの会員でもある建築家の橋本夕紀夫氏が伝統の茶室の空間、自然の理解、伝統の材料から学んで設計したという極めて緊張感の高い商業施設の作品を披露しながら自らの設計思想を語りました。インテリアデザインをデコレーションと混同しているデザイン学校の学生やデザイナーの目にはユニークで完成度の高い作品と写ったようで水とガラスを用いて設計した滝のイメージの手洗いが披露されたとき会場からは最初で最後の大きな拍手とウォーというどよめきが起こりました。その他、マニラ在住の建築家の講演も興味深いものでした。歴史的に永い年月他国に統治されてきたフィリピンが外来文化の往来の歴史のなかで、歴史から何を学び、何処へ向かうのかを問いながら現代のマニラをスライドを用いて明確な視点の講演でした。

フェアウエルディナーはモダン建築のトレーダーホテルで開かれ、APSDA 開催の功労者やゲストスピーカー等への表彰、参加国のお国自慢の歌などの披露、フィリピンの伝統の歌と踊りで盛り上がるなか、3日の公式行事が無事終わりました。

6日の日曜は、海外参加者の為に特別ツアーが企画され、泉さんと中川が参加しました。歓迎晩餐会で隣合わせた若いカップルの家族が経営する工場の見学です。マニラの南西30キロのPAMPANGA市にあるJ.B WOOD CRAFT工場は、1991年のPINATUBO火山の火山灰に埋

もれた村の近くです。工場への途中、火山灰に今も埋もれているこの村があり、村は一見普通の平地に見えますが、現在人が歩いている地面は火山灰堆積の最上段で、元の地面はその下6メートルから16メートルも下に埋まっているとのこと。訪れた村の教会はかつて教会の高窓だった地上6メートルの所が入口。掘り起こした祭壇が天井ぎりぎりの位置に据えられ、屋根は残った梁剥き出しの上にトタン板が貼られていました。丁度日曜の午前中の訪問でしたが、避難して他の所に移り住んでいる村人達は日曜ごとに元の村の教会にミサ礼拝に集まるのだそうです。村には埋もれた家の2階だけを使って住む家や屋根の突端だけが白い火山灰からわずかに姿を見えている放置されたままの工場などが見受けられ奇妙な感覚に襲われました。この村には現在、国際的プロジェクトチームが加わって土壌改良が進められており、火山国日本からも専門家が参加しているとのことでした。

最後に訪問した家具工場は以前JETROの指導で日本にも家具を輸出していたこともあり、対日感情はとて面白いようでした。社長のMrs. Bituinは工場の2階のショールームを地域の家具工場が生産する家具の展示に提供し、共同のビジネスを展開しているとのこと、製品は装飾が多い大ぶりの椅子や箱もの、照明器具、鏡、ベッド等が中心でした。熱帯の植物や花であふれる工場環境は工場と言うよりはリゾートのようなしつらえで、我々訪問者の為に地域に伝わる伝統的な食事を準備して迎えてくれました。

平成14年度第3回理事会報告

①会議名：平成14年度第3回理事会

②日時：平成14年9月28日（土）13:30～18:15

③場所：JID本部事務局 会議室

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー8F

④出席：（理事長） 木村戦太郎
（副理事長） 阪井良種、佐々木恵子
（理事） 秋山修治、岩倉榮利、川上玲子、
吉良ヒロノブ、熊谷正信、
須長壮太郎、森谷延周、
八十常充、山下博之、山永耕平
（委任出席） 小宮容一、山本棟子
（監事） 川上信二、中川千年
（事務局） 峰尾 武

⑤議題

I 報告事項

- (1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- (2) IT理事会開催結果に関して
- (3) 平成14年度収支状況報告（8月末現在）
- (4) その他

II 議題

- 第1号議案 後援・協賛名義承認の件
- 第2号議案 会員入退会承認の件
- 第3号議案 財務状況改善の件
- 第4号議案 APSDA派遣人事承認の件
- 第5号議案 議事録署名人選任の件

⑥議事

峰尾事務局長より「理事総数15名中、本人出席13名、委任状出席2名で本理事会は成立した」旨報告。木村理事長が議長となり議題に入った。

I 報告事項

(1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部（山下）

北関東部会交流会の実施、第5回建築と暮し再発見「小笠原伯爵邸見学及び会食」実施、宇都宮周辺見学会予定等が資料をもとに報告された。さらに記念出版を柱とした関東事業支部10周年記念事業について説明があったが、複数の理事より関東事業支部の歴史は28年を数え、10周年は全体として合わない、活性化にふさわしいタイトルを付けたイベントにしてはどうか、又収支予算など会員ワーク集と調整する必要等の発言があり、支部で検討することとなった。

◆中部事業支部（熊谷）

第1回合同支部長会議・懇親会（8月24日）を中心に、7月、8月度連絡会、デザイン名古屋フェスティバルデザイン展等の協力、愛知万博関連「愛、地球博」出展企画説明会出席等を資料に基づいて報告。

◆関西事業支部（八十）

支部運営部会、間月会の説明。ホテル日航ベイサイド大阪・兵庫大学健康科学部見学会等の実施、賛助会委員会の企業PRセミナー、「日本の空間デザイン2002」、「府中デザイナーズBOX作品展覧会」等の予定を資料を基に報告。

◆九州事業支部（山永）

役員会開催、福岡デザインリーグ参加について、JID九州ホームページについて、又TRYの会員募集と会員の拡大等を資料を基に報告。

◆総務／組織委員会（秋山）

キャンペーンの会員拡大に賛助会員の拡大も考慮した検討、又賛助会員の情報紹介や報酬基準の改訂を検討、健保の加入など福利厚生について等を資料を基に報告。

◆国際／交流委員会（川上）

IPEC21への企画参加、国際フォーラムテーマ“インテリアビジネス・アジアからの発信”、APSDAマニラ総会へ中川帛子国際委員長、坂本和正交流委員長の派遣等を資料にて報告。

◆情報委員会—インターネット（吉良）

パソコンに関するアンケートを実施、集計結果を資料

にて説明。インターネットE-mailの利用環境整備を行い、プロバイダーの状況を研究し比較検討中。その他料金の確認やプロバイダー契約等を検討すると報告。

◆情報委員会—JIDニュース（吉良）

JIDニュースをJIDレポートと改名、報告事項のみとし、年4回発行の季刊誌「JID」を発行したい提案があったが、討議の結果、内容の充実を図りJIDニュースとして継続するとの結論となった。

◆教育研究委員会A（文書にて）

京都市立紫野小学校インテリア教育の可能性について実習を実施（7月4日）、又前年実施した実習のデータを分析中。小学校向けの「インテリア教科書」を来年度作成する検討を始めたと報告。

◆教育研究委員会B（須長）

昨年度研究テーマ「新聞記事に見る若者の日常生活周辺調査」を分析しながらデザイン提案としての可能性をさぐり、インターネット等で発信し意見を集め検討する旨報告。

◆教育研究委員会C（文書にて）

Humanizing DesignセミナーをOZONEで実施予定（11月12日）。

◆会員プロモーション委員会（森谷）

「会員ワーク集＋名簿＋FROM JID」の具体化に向けて検討中。FROM JIDはJIDが外部に発信することを前提に、内部活動のPR、インテリアデザイナーの仕事に関わることを題材に正・賛助会員、一部外部より執筆を求める。次回委員会にてタイムスケジュール等を検討、その他OZONEにおけるイベント企画等については検討原案を作成すると報告。

◆選考委員会（岩倉）

ワーキンググループのメンバー紹介と役割の説明、今後の進め方、又応募数と第1回1次審査の結果を資料にて報告。

II IT理事会開催結果に関して

山本棟子理事より書面にて以下2項が提出され討議された。

1. 役員の関係団体との関わり方についての意見があり、各々立場をわきまえ、良識を持ってことに当たることとした。

2. IT理事会出席扱いに関して、討議採決に意思表示なき場合は欠席とし、参加出来ない場合は委任状を提出する。理事会回数に関しては通算とし前回は14年度第2回理事会（IT）とする。又今後の（IT）理事会に関しては事前配布の資料はハードコピーで配布する。

(3) 平成14年度収支状況報告（8月末現在）

平成14年度収支状況報告（8月末現在）について資料を基に事務局長より報告。

(4) その他

・訃報 松田 博 関東事業支部正会員

平成13年7月14日没 享年50歳

・故佐藤均会員の奥様 佐藤暢子様及びご家族様より、故人の意志をいかすべく、協会に金10万円のご寄付あり。

・賛助会員の各事業支部関係担当調査結果は、各事業支部担当理事に配布した。

・イタリア貿易振興会マスターアビターレイタリアミッション招待参加の件、熊谷正信理事出席予定。

・NPO法人日本デザイン協会(平成14年5月31日内閣府国民生活局認証)設立について木村理事長より、設立経緯の説明があり、それぞれ個人の立場で参加した旨報告があった。

・理事会予定

2002年第4回理事会（IT）2002年11月

2002年第5回理事会 2003年1月23日（木）

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

II 議案

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

事務局長が下記10件について説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

◎大川総合インテリア展「華胥の夢博2002」

平成14年10月4日（金）～6日（日）

主催（財）大川総合インテリア産業振興センター

◎2002年東京国際家具見本市

平成14年11月27日（水）～30日（土）

主催（社）国際家具産業振興会

◎「てつそん2003」

平成15年3月8日（土）～16日（日）

主催 てつそん2003 企画

◎「第4回ユニバーサルデザイン展」

平成14年11月7日（木）～12月10日（火）

主催 東京ガス株式会社 リビングデザインセンターOZONE

◎「武蔵野美術大学近代椅子コレクション・名作椅子130脚に座る」

平成14年10月10日（木）～10月27日（日）

主催 リビングデザインセンターOZONE

◎「第8回 木造建築物に関する研究会」

平成14年10月16日（水）

主催 日本住宅・木材技術センター、日本集成材工業 協同組合

◎JAPAN SHOP 2003（第32回店舗総合見本市）

平成15年3月4日（火）～7日（金）

主催 日本経済新聞社、（財）店舗システム協会

◎「建築・建材展 2003」

平成15年3月4日（火）～7日（金）

主催 日本経済新聞社

◎ライティング・フェア2003（第6回国際照明総合展）

平成15年3月4日（火）～7日（金）

主催（社）日本照明器具工業会、日本経済新聞社

◎「JCD東北支部デザインキャンプ IN 岩手」

平成14年10月15日（火）～16日（水）

主催 (社)日本商環境設計家協会東北支部、本部

森谷延周、山下博之、山永耕平、
山本棟子

第2号議案 会員入退会承認の件

事務局長が下記17件について説明、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

(委任出席) 八十常充

(監 事) 川上信二、中川千年 (欠席)

(事務局) 峰尾 武

正会員・入会 (13件)

平尾 謙二 (関東) 推薦人: 西村太志・安藤真吾
高橋 昌司 (関東) 推薦人: 秋山修治・峰尾 武
渡邊 真琴 (関西) 推薦人: 佐々木恵子・清家淳一
下田 隆 (九州) 推薦人: 山永耕平・中川千年
宮田 千加 (関西) 推薦人: 佐々木恵子・清家淳一
瀬戸 昇 (関東) 推薦人: 山永耕平・川上信二
上中 洋人 (関西) 推薦人: 佐々木恵子・清家淳一
青野 剛三 (関東) 推薦人: 須長壮太郎・岩崎真理子
藤本 賢一 (関西) 推薦人: 佐々木恵子・清家淳一
寺田 智子 (関西) 推薦人: 中村隆一・夏原晃子
土屋 正夫 (関東) 推薦人: 山下博之・日方一城
松田千代美 (関東) 推薦人: 秋山修治・峰尾 武
馬場 英彦 (関西) 推薦人: 八十常光・小宮容一

正会員・退会 (2件)

小野里 勉 (関東)・鐵谷知会子 (九州)

賛助会員・退会 (2件)

インターフェイスオーバースーズホールディングズインク (関東)
パラマウントベッド (株) (関東)

第3号議案 財務状況改善の件

木村理事長より、財務に関する緊急提案があり、議案として審議することとした。財務状況について木村理事長より説明があり審議、支出削減策の実行と、支部資金の一部運用について検討することとし、議長は承認を諮り、異議なく承認された。

第4号議案 APSDA派遣人事の件

APSDAマニラ総会に対し、中川帛子国際委員長、坂本和正交流委員長の2名の派遣に関し、議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

第5号議案 議事録署名人選任承認の件

議長は、熊谷正信、森谷延周両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

⑤議 題

I 報告事項

- (1)各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- (2)平成14年度中間監査報告
- (3)平成14年度収支状況報告
- (4)その他

理事会予定

1. 平成14年度第5回理事会予定2003年1月23日 (木)

2. ニューイヤーズパーティ及びJID賞贈賞式

II 議 題

第1号議案 協会財務状況と支部繰越金の扱いの件

第2号議案 会員ワーク集及び名簿出版にかかわる関連事項の件

第3号議案 後援・協賛名義承認の件

第4号議案 会員入退会承認の件

第5号議案 議事録署名人選任の件

⑥議 事

峰尾事務局長より「理事総数15名中、本人出席14名、委任状出席1名で本理事会は成立した」旨報告。理事長が議長となり議題に入った。

I 報告事項

(1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部 (山下)

組織委員会、北関東部会宇都宮大谷石切場見学実施、木村理事長宇都宮県庁保存等について新聞取材を受ける。北海道部会立ち上げ準備 (間、竹内会員) メール活動メンバー具体構想関東支部会議で可決。情報委員会支部ホームページ意見交換。事業推進委員会宇都宮周辺バス見学ツアー実施。2003年2月OZONE住いのセミナーにテーマ変更。上海マイチェア企画2月実施。賛助会員交流企画、JID関東パートナーズ発足会34名参加、今後関東組織委員会に移行。「デザイン職人四方山話」入選中。研究活動委員会、スケルトンインフィル研究部会「可変内装システム」意見交換。リフォーム研究部会テーマ模索中。ユース統括委員会、IFFTの展示会が好評を受ける。その他総会設立10周年記念事業、記念出版を中心に作品募集案内送付を保留中、出版内容及び予算提示等を報告。

◆中部事業支部 (熊谷)

事業委員会・交流委員会、9月13～16日、第13回建築総合展NAGOYA 2002 (中部電力) 内にて、「潤いのコーディネート生活応援隊」に会員13名参加一般市民へのアドバイス。9月27日～11月17日、笠松栄「折り紙に魅せられた椅子」及び10月5～6日、名古屋デザインフェスティバル2002等CCDO団体支援

平成14年度第4回理事会報告

①会議名: 平成14年度第4回理事会

②日 時: 平成14年12月7日 (土) 13:15～18:15

②場 所: JID本部事務局 会議室

東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー8F

④出 席: (理事長) 木村戦太郎

(副理事長) 阪井良種、佐々木恵子

(理 事) 秋山修治、岩倉榮利、川上玲子、
吉良ヒロノブ、熊谷正信、
小宮容一、須長壮太郎、

に参加。11月大正ロマンクラブ榎木館ファイナルパーティー、団体支援参加。今後12月度連絡会、デザイナーズクリスマス2002デザイン展参加の予定。又「現状と今後の予定」として、熊谷理事より、JID会員の活動に参加意識が薄れている。又現状の仕事が忙しく参加出来ない等悩みがあるとして不況化の不安をやわらげ、且つ共に乗り越えることが出来るか、又協会会員及びブレーンを通した「知恵の輪」を立ち上げることが出来ないかとの意見等を報告。

◆関西事業支部（文書にて、フォロー佐々木、小宮）

総務部会、10月23、30日監査及び経費費用に対し確認。情報部会エコ誌委員会、エコ誌21号を11月発行予定で準備。組織部会、府中デザイナーズBOXオープニングパーティが11月1日、府中家具工業共同組合 井上理事長他多数参加で盛大に開催された。研究発表部会、研究委員会を10月8日、11月7日に開催、インテリアデザインの教科書作成に向けての検討を実施、実習用教科書作成素案アンケート集計検討。その他事業支部10月末収支計算書提示等報告。

◆九州事業支部（飯田）

9月28日第1回福岡例会、会員5名、一般1名、学生22名で日本赤十字九州国際看護大学、山永耕平工房、グローバルアリーナ、（クラブハウス、ロッジ、体育館、武道館）等視察、懇親会実施。9月28日第3回役員会、事業支部合同交流会、福岡デザインリーグ経過、ホームページ拡大、TRY-kyusyuの会等の報告が行なわれ討議。福岡デザインリーグへの参加、10月8日、第4回FDL賞部会、10月24日、FDL賞審査、11月2日FDL賞受賞作品、取材等参加。11月19～24日第7回福岡デザインリーグ展開催（福岡ソラリアビル1階ゼファー）。その他新会員下田 隆氏が加わり明るい光が差し込んできた、又TRY-kyusyuの会も20名弱のスタートですが全会員で協力していきたいと報告。

◆総務・組織委員会（秋山）

総務・組織合同で委員会を開催、会員拡大を主要テーマにどのような方向で委員会を行っていくかディスカッションを行い、JIDという組織を一層活性化し入会のインセンティブとなるようなことを目標に今後の活動を組み立てたい。検討中の活動テーマとして「報酬基準の調査及び検討」、「賛助会員とJID会員の新しい関係の構築」を検討。賛助会員との関係については、関東事業支部も取り上げており、各事業支部との関連で検討する。その他ニューイヤーズパーティ及びJID賞贈賞式を計画と報告。

◆国際委員会（川上）

第6回APSDA MANILA総会及び国際会議が10月3日～6日フィリピンのマニラ市で行われ、国際委員長中川帛子、交流委員長坂本和正、及び前理事長泉 修二氏の3名が参加した。議題として、1. メンバー協会の活動報告。2. APSDAの定款改定の提案。3.

APSDA事務局設置の提案を討議した。議題1. 2は関連があり小委員会を作り詳細を検討することとなった。今総会での議決は、この小委員会の設置とニュージーランド協会の新加盟が承認された。最後に2004年に香港で開催決定のAPSDA会議のプレゼンテーションを香港代表が行い、総会を終了した。その他国際会議も行われた。今後の計画として、2003年ミラノサローネ訪問を柱とする見学ツアーの企画、喜多俊之氏の展示会場パーティに参加出来るインビテーションをJID会員にもらうことを検討。その他JID-MEETSシリーズを交流委員会と今期も継承と報告。

◆交流委員会（川上）

日本インテリアプランナー協会協議会主催のIPEC21に国際フォーラムF-02を協賛企画、「インテリアビジネス・アジアからの発信」と題し、JID会員の浅野盛治、李 泰久の両氏で坂本和正が司会を担当した。50名の参加で、ホットな上海デザイン事情、グローバル外資系企業のオフィスデザインの現在などが紹介された。又展示会場でJIDをパネルで紹介したと報告。

◆情報委員会 インターネット（吉良）

現在のホームページは改訂に多額の費用がかかり、タイムリーに更新が難しい、これらを会員などで簡単に更新できる状況に変えること、又会員が安く利用出来る環境整備が必要である。現在プロバイダーの状況等比較検討中。現在すでにJIDドメイン、HPを開設している会員に負担がかからないように契約内容等検討すると報告。

◆情報委員会 JIDニュース（吉良）

JIDニュース219号を12月上旬に発行、今回は従来の形で制作。従来のJIDニュースは報告書的内容が中心で、購読者にとって購読意欲の低下が感じられるので、内容、スタイルについて今後も検討と報告。

◆教育・研究委員会A（小宮）

小学生向けのインテリア実習用教科書作成にあたり、全国の会員に教科書作成の知恵とアイデアをお願いした結果、30名の会員から大変貴重なご意見をいただき、これらの意見をもとに、方向付けを検討。来年度出版に向け予算取り等計画を進めると報告。

◆教育・研究委員会B（須長）

「新聞記事に見る若者の日常生活周辺調査」を分析しながらデザイン提案としての可能性をさぐる。又記事の中からキーワードを絞り「ルームシェア」について討議、インターネット等を通して会員に流す、又セミナー等で会員に成果を流す方法もあると報告。

◆教育・研究委員会C（山本）

Humanizing Design セミナー「インターフェイスとしてのユニバーサルデザイン」を11月12日OZONEセミナールームで開催65名の参加があり好評であった。パネリストに臨床心理士 井口和子氏、障害者施設スタッフ 宮川和浩氏等現場の人たちの講師が良かった。

これを次のステップに繋げていきたいと報告。

◆デザイン保護委員会（佐々木）

経済産業省より日本デザイン団体協議会（D・8）に依頼のあった海外での模倣情報と対応状況に関するヒヤリング出席報告。昨年実施の「デザイン保護に関するアンケート」の結果を踏まえて、数回の委員会で本年度実施事業を検討、知的財産権に関するセミナーの来年開催を予定、委員以外の会員、専門家である弁理士等の参加を得ての実施を考えると報告。

◆会員プロモーション委員会（森谷）

「会員ワーク集+FROM JID&会員名簿」に関して予算検討を終了募集要項制作完了、再度予算表を提示説明、会員に発送を予定したが、関東事業支部記念出版とのバッティング問題があり発送を留保したと説明、第2号議案での審議をお願いしたいと報告。

◆選考委員会（岩倉）

2002JID賞の最終審査を終了10点の入賞を決定、2003年1月NZONE 6FギャラリーでJID賞展を開催すべく、今回からワーキンググループ（リーダー、斉藤武行会員）のもとで展示計画を作成中と報告。

(2) 平成14年度中間監査報告

平成14年度中間監査報告を川上監事より報告。

(3) 平成14年度収支状況報告

平成14年度収支状況報告（10月末）について事務局長より報告。

(4) その他

- ・平成14年度第5回理事会2003年1月23日（木）
- ・ニューイヤーズパーティー及びJID賞贈賞式
2003年1月23日（木）

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれをして承した。

II 議案

第1号議案 協会財務状況と支部繰越金の扱いの件

木村理事長より協会の本部財務の現状につき年々会員の減少、及び会費入金状況停滞等により長期財務状況の悪化が予測され、又運営資金の不足が生じるので。各事業支部繰越金の一部を本部会計に繰り入れたいと説明。各事業支部長の同席を得て審議、活発な意見交換の後、木村理事長より各支部長、各理事よりのご意見を踏まえ、今後の協会運営に取り入れ改善していきたいと発言、各事業支部の繰越金については当座450万円の繰り入れを予定する。但し支部資金の75%を繰り入れ、25%を支部に残すことを目安とする。

以上につき議長は承認を諮り、異議なく承認された。

第2号議案 会員ワーク集及び名簿出版にかかわる関連事項の件

関東事業支部総会設立10周年記念出版（会員カラー作品集）と「会員ワーク集+FROM JID&会員名簿」出版（会員モノクロ作品集）のバッティング問題を審議した。

冒頭に前者の全体計画を山下担当理事が説明した。次に、後者の「募集要項」発送留保の事由、モノクロ、カラーの論議などについて森谷担当理事が説明した。

続いて理事長が問題解決に関して、各理事に意見を求めた。主な意見は次の通り。

①JIDとして「作品集」はどちらか1つにする。

②作品写真はカラー、モノクロは問わない。それよりも内容や視覚的扱いを充実させる。

③JID出版物とし、全国版のもとで公平でなければならない。

④「会員名簿」の発行は不可欠。予算を移行し、関東の出版と合体させてはどうか。

⑤「関東事業支部総会設立10周年」にこだわる根拠が曖昧だ。

⑥JIDの厳しい財務状況を視野に入れる必要がある。

⑦「ワーク集」は今年度の「第34回通常総会」で承認された事業である。

上記のような意見が出された後、理事長が次のように方向付けた。

①本部事業の「会員ワーク集」及び「FROM JID」は凍結する。

②「会員名簿」は（本部事業として）発行する。

③記念出版は関東事業支部事業として行う。

第3号議案 後援・協賛名義承認の件

事務局長が下記5件について説明。議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

◎「あかりメッセージ2002」

平成15年1月9日（木）～15日（水）

主催 （社）日本インダストリアルデザイナー協会

◎「第29回大阪国際ナショナル・ギフト・ショー・春2003」

平成15年3月18日（火）～20日（木）

主催 （株）ビジネスガイド社

◎「第55回東京国際ナショナル・ギフト・ショー・春2003」

平成15年2月19日（水）～21日（金）

主催 （株）ビジネスガイド社

◎「NEXT SOHO」

平成15年1月30日（木）～2月25日（火）

主催 リビングデザインセンターOZONE

◎「インテリア ライフスタイル」

平成15年6月17日（火）～19日（木）

主催 メサゴ・メッセフランクフルト（株）

第4号議案 会員入退会承認の件

事務局長が下記22件について説明。議長は承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

正会員・入会（2件）

茂呂 肇（関東）推薦人：秋山修治・峰尾 武

村澤 一晃（関東）推薦人：垂見健三・田中聰行

正会員・退会（1件）

佐々木 桂（関西）

正会員・退会（18件）

板倉 信輔・中村 基一郎・岩谷 雅史・堀川 始・
尾方 義人・村田 正人・尾関 文夫・吉田 寿孝・
国吉 英昭・李 在赫・黒田 秀雄・渡辺 勇・小林
正典・小林 康子・瀬尾 雅勝（関東）

楠美 靖・鈴木 幸生・松原 明（関西）

賛助会員・退会（1件）

（株）東京書藝館（関東）

第5号議案 議事録署名人選任の件

議長は、小宮容一、山下博之両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

議案審議終了後、佐々木副理事長より、現在改革特別委員が財務等の改革を検討しているが、新しい仕組みについて支部長を含め、やってもらってはどうかとの意見が出された。木村理事長より1月の理事会には全理事から改革案等を出してほしい。支部の問題等も担当理事を通じて提出していただきたいと要請があった。

平成14年度第5回理事会報告

①会議名：平成14年度第5回理事会

②日時：平成15年1月23日（木）13：30～16：15

③場所：JID本部事務局 会議室

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー8F

④出席（理事長） 木村戦太郎

（副理事長） 阪井良種、佐々木恵子

（理事） 秋山修治、岩倉榮利、川上玲子、
吉良ヒロノブ、熊谷正信、
小宮容一、須長壮太郎、八十常充、
山下博之、山永耕平、山本棟子

（委任出席） 森谷延周

（監事） 川上信二、中川千年（欠席）

⑤議題

I 報告事項

(1)各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

(2)平成14年度収支状況報告（12月末）

(3)その他

1. JID事務局縮小の件
2. JID財務関係
3. JID改革案
4. 平成15年度予算（各事業支部、本部各委員会提出のもの、未提出有り）
5. 平成14年度第6回理事会予定

2003年3月29日（土）11：00～16：30

II 議題

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

第2号議案 会員入退会承認の件

第3号議案 議事録署名人選任の件

⑥議事

峰尾事務局長より「理事総数15名中本人出席14名、委任出席1名で本理事会は成立した」旨報告。理事長が議長となり議題に入った。

I 報告事項

(1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部（山下）

組織委員会、ネットメンバー甲府在住会員とメール意見交換。情報委員会、支部ホームページ検討案作成中、支部総会設立10周年記念出版見積もり詰め終了。事業推進委員会、OZONE住いのセミナー講師、会員2名の予定、上海マイチェア企画参加者30名近くで目標達成。賛助会員交流活動、「JID関東パートナーズ」発足会後アンケート実施、「デザイン職人四方山話」：金子徳次郎氏を予定等報告。

◆中部事業支部（熊谷）

1月18日中部月例会実施、平成15年度事業計画検討、マイアイデアフェアニチャー（中部）、中部電力第2回企画展参加（中部事業の定例化）、会員プロモーション準会員の事業、情報IT化ホームページの開設準備、CCDO参加関係等を討議と報告。

◆関西事業支部（八十）

総務部会、12月18日第5回支部運営部会開催委員会の報告他。研究発表部会、12月7日小学生向けインテリア教育のための教科書検討、12月12日～17日、日本の空間デザインへのJID賞、ECHO賞作品出展、これには空間系5団体がそれぞれの協会の賞を出展。セミナー委員会12月14日CAD勉強会実施。ECHO誌21号発行。1月15日JID部門賞「SOYA」新年会を兼ね見学。1月22日企業新製品説明会の準備（賛助委員会）。今後ECHO誌財務改革、組織改革について座談会を予定。又四国会員との交流会予定（四国巡礼のたびinさぬき）と報告。

◆九州事業支部（山永）

11月23日福岡例会、福岡デザインリーグ事業展見学、創作工房「樹の館」見学研修。役員会の開催、役員、支部長合同会議報告。九州事業支部事業及び委員会の経過報告、九州インテリアデザイン展2003アンケート報告、九州事業支部ホームページ検討、平成15年度事業計画、予算について、及びTRY-Kyusyuの会発足会について等協議。11月19日～24日の第7回福岡デザインリーグ展見学。その他九州事業支部ホームページリニューアルがなされ新しい顔ができた等報告。

◆総務・組織委員会（秋山）

ニューイヤーズパーティーの開催とJID賞贈賞式への協力。

◆国際・交流委員会（川上）

2003年、国際・交流委員会合同会議を開催、セミナー等支部に限定して開催されるものについて支部との合同事業として実施する。2月に差し迫っている国際委員会の懸案行事JAPAN MEETS THE WORLDの準備

にかかる。その他ミラノサローネ参加ツアーの企画についても支部事業との共同施行について推進と報告

◆情報委員会—インターネット（吉良）

ネットワークの充実の必要性から、情報発信のコスト低減、広報機能の移管、双方化による会員メリットの創造等検討。JIDホームページの充実とコストの削減及び内容の変更等を可能な限りJID独自で出来るようにプロバイダーの変更を含め検討する。又会員の加入者に対するメリットも考慮、具体策を検討していくと報告。

◆情報委員会—JIDニュース（吉良）

219号に関しミスが多かったので今後注意していく、又国際委員会の報告は次号で訂正する。又次号220号の原稿依頼をお願いします。今後ニュースの内容、形態を含め検討していくと報告。

◆教育・研究委員会A（小宮）

小学生用インテリア教育に関し、当初教科書の作成を考えていたが、これを教師用指導マニュアルの作成に方向を変えていく、尚現在内容についてアンケートを実施している。今後アンケート結果を資料にまとめカラーコピー等でミニ本を作成、下半期に小学校、教育委員会等に説明することを目標に研究を進める。この件に関しては関西事業支部研究開発委員会と共同で進めていくと報告。

◆教育・研究委員会B（須長）

現在進行中のテーマから「ルームシェア」について掘り下げた考察を行い、14年度末には中間成果をホームページに掲載等会員に報告検討。

◆教育・研究委員会C（山本）

11月12日に開催したHumanizing Designセミナー「インターフェイスとしてのユニバーサルデザイン」の反省会を実施、好評であったので2弾3弾と異業種との関係を強くし繋げて行く、又ビデオを収録しているので会員や外部に貸し出し有効に活用していきたいと報告。

◆会員プロモーション委員会（文書にて）

第4回理事会の結果を森谷理事より報告を受け、それを基に今後の対応を協議、その結果会員ワーク集等の計画は「第34回通常総会」の承認を経て取り組んでいくものであり、凍結事由の不明快さから議事録再確認のうえ、改めて各理事に具申することとしたと報告。その他森谷理事より関東事業支部総会設立10周年に関して質問があり討議、整合性には問題があるが支部総会設立10周年記念事業というイベントとして問題ないとした。

◆デザイン保護委員会（佐々木）

知財権に関し日本デザイン団体協議会デザイン保護研究会が中心となり研究を進めているが、今後何らかの形で会員に報告する事など検討と報告。

◆選考委員会（岩倉）

2002JID賞展を1月16日～28日 OZONE（6Fギャラリー）で実施中。今回はワーキンググループの協力を得て展示が出来た。今後このワーキンググループの位置付けの検討をお願いしたいと報告。

(2) 平成14年度収支状況報告

平成14年度収支状況報告（12月末）について事務局長より報告。

(3) その他

1. JID事務局縮小の件

木村理事長より、かねてより（株）リビングデザインセンターと折衝中であった事務局縮小案につき結論がでたと詳細を説明した。

2. JID財務関係

財務運営資金繰り、支部繰越金の一部本部繰入、支部事業補助金の変更等につき事務局長より資料を説明、理事長が補足説明のあと討議。

3. JID改革案

吉良理事より、各理事から改革について提出された意見のまとめを報告、これを討議、今後検討を重ねることとした。

4. 平成15年度予算

各事業支部、本部各委員会より提出のあった資料を提示、未提出の委員会、支部に対して再度提出依頼を行う。

5. 平成14年度第6回理事会予定

平成15年3月29日（土）11:00～16:30と決定

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれ了承した。

II 議案

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

事務局長が下記1件について説明。議長は承認を諮り、異議なく承認された。

「2002建設資材データベース」の発刊について。

平成15年度 主催（財）経済調査会

第2号議案 会員入退会承認の件

事務局長が下記2件について説明。議長は承認を諮り、異議なく承認された。

正会員・入会（1件）

早乙女 明子（関東）推薦人：秋山 修治・峰尾 武
賛助会員・入会（1件）

太陽工業株式会社（関東）紹介者：秋山 修治

第3号議案 議事録署名人選任の件

議長は、八十常充、阪井良種両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

JID関東パートナーズ（賛助会員）各社への アンケート結果報告

関東事業支部 支部長：佐藤健一

昨年10月末、JID関東パートナーズ発足後、11月後半に賛助会員の皆様にアンケートをお願いいたしました。12月のお忙しい中にもかかわらず、15社の賛助会員の方々からご回答をいただく事ができました。

下記のように、ご回答はとても積極的で驚くと共に、厚く御礼申し上げます。

発足会14社、アンケートと合わせて23社の賛助の方々と出迎え、これを機会に今後の関係強化を推進して参りたいと考えております。

4月には関東パートナーズ懇親会を開催予定です。更に交流を深めて今後の協会活動につなげて行きたいと考えております。

何かご意見、ご希望がございましたらJID関東ネットまでお寄せください。賛助企業の皆様には、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

＜アンケートの内容＞

*関東支部委員会の各種企画懇談会に出席するお気持ちがありますか。

- ☐可能性あり 1
☐場合によっては 7
☐特にない 1
 合計 15

*関東支部では住まい、店舗の相談会やセミナーを企画しておりますが、御社のパンフ、カタログ、サンプルなどをご提供いただけますか。

- ☐可能 14
☐ちょっと無理 1
 合計 15

*セミナーや相談会の開催場所を提供していただけますか。ショールーム前の外の可能性もあります。

- ☐可能 5
☐ちょっと無理 8
 場合により（アンケート外） 2
 合計 15

*相談会やセミナー等の会場に御社社員の方が準備や相談のメンバーとして参加していただけますか。

- ☐可能 7
☐ちょっと無理 7
 場合により（アンケート外） 1
 合計 15

*御社の製作工場やショールームの見学会はお考えですか。

- ☐考えている 4
☐当面はない 7
☐ない 4
 合計 15

*御社を紹介するプロモーションビデオはお持ちでしょうか。

- ☐持っている 3
☐持っていない 11
 一部有り（アンケート外） 1
 合計 15

*賛助企業3～4社お集りいただければ、商品その他の説明会を開く事が可能ですが、そのような企画に参加するお気持ちはありますか。

- ☐可能性あり 6
☐企画が出たら 7
☐多分不参加 2
 合計 15

*JID関東ホームページは来年3月までに開設の予定です。関東HPに御社として関わりたいご希望はありますか。

- ☐ある 7
☐特にない 1
☐改めて考える 7
 合計 15

大谷石石切り場等見学バスツアー印象記

JID関東パートナーズ（賛助の会）
株式会社フジエキスタイル 山本信比古

朝、未だ早朝の新宿駅前には驚くばかりの数の大型バスが軒を連ねており、ああやっぱり秋の行楽シーズンなのだなぁと実感しました。

その中で幹事の皆様がインテリアデザイナー協会の手作りの看板を掲げて少し恥ずかしそうにお迎えいただきました。

早速バスに乗り込み、はじめて会う皆様の中で少々不安が走りましたが隣に入江さんに座っていただき、初対面にもかかわらず、すぐに打ち解けることが出来ました。

さあバスが発発！いざ宇都宮へ

バスの中では新妻さんがいつもの名調子(迷？失礼)で

司会をつとめられ、早速自己紹介が始まりました。ここですでに私はこの会の大変なごやかで、気取らない皆さんの雰囲気を感じ、嬉しくなってきました。

さて宇都宮に着き、最初の栃木県庁の見学となりました。ここで合流したJID北関東部会の山口さん（今回の企画の主です）より、ご説明を受けながら見学開始となりました。

栃木県庁は大変貴重な建物なので、山口さんたちは保存のための活動をされていて、その活動内容、建物の価値などについてご説明いただきました。

栃木県庁は今から50年以上前に、栃木出身の佐藤功一氏が設計。佐藤氏は4つの県庁を設計され、その中でも傑作といわれる建物であること、現存する貴重な建物でありながら老朽化の視点から取り壊しが議論されているとのこと。

最初、知事の保存するという約束にもかかわらず正面部分の一部を残し取り壊され、その一部は今の場所の隣に移築されるとの結果、残念です。

並木道の突き当たりにある現状こそ、ふさわしく意味あると思うのですが。

県庁の見学終了するともうお昼、山口さんの先導で「石の蔵」という大谷石でできた蔵を改装したレストランで昼食をとりました。

ここも山口さんが仕事をされたところで、社長さん自ら建物の紹介をいただきました。とても天井の高い蔵の雰囲気をそのまま残し、照明、家具、オブジェなど有名な作家の作品とさりげなく融合し、蔵の重厚な空気を見事に感じさせてくれます。

出てくる料理、器も見事な和の創作デザインで、味も大変素晴らしかったのです。ちなみに設計デザインはスーパーポテトにいた新藤力さんだそうです。

おなががいっぱいになったところで、いざ本日のメインイベント、大谷石の採掘跡の見学となりました。

ここは大谷石資料館となっていて「未知なる空間」と呼ばれた地下の採掘現場跡です。その広さは後楽園球場がすっぽり入るほどの広さで天井までは30mという大空間です。

普段は見学のための資料館として公開されているのですが、それ以外にコンサートや映画のロケなどに使われるそうです。（キタローやグレイなど）反響効果が素晴らしいのです。薄暗い、石のしっとりした大空間にいるとまるで別世界にいるような浮遊感を感じます。

おやおや、誰かJIDのメンバーがトランペットを吹き始めました、素晴らしい反響効果です。まるでマイルスデ

イビスのよう？あれは久原さんのようです。

この後、現在の石切り現場を視察しました。現在は地下ではなく上から掘り下げていました。大谷石のサンプルを皆さんもらって帰りました。

さて次は栃木市へ移動、栃木市役所の見学となりました。時間が少しずつ遅れ、タイムキーパーの新妻さん、もう大変です。

山口さんの紹介で地元建築家のイシモトさん先導で市役所の見学。この市役所は大正時代の建築で国の重要文化財に指定されている建物です。大正時代のモダンさを感じさせる建物でした。役所の方が休みだというのにわざわざ出迎えてくれ、説明をしていただきました。

最後に横山郷土館に着きました。これも重要文化財で明治時代の建物です。古い建物の両側を大谷石の蔵がはさんだような建築です。1979年に一般に公開されたとのことで、中には当時の商家の日用品などが展示されているとのことでした。

残念ながら当日は横山家の主が急に他界され忌中となっていました。イシモトさんが現在郷土館の復元を手がけておられるので、裏口から開けていただき、室内も含め復元中の建物内外を見学させていただきました。

見学はこれで終了となり、計ったように夜の帳に包まれました。

栃木市の中を流れる川の両側には蔵がいくつも並び、大正ロマンの映画の世界です。

ということで無事見学会も終了し、バスで新宿に帰ります。帰りのバスではビールと餃子、餃子は山口さんの差し入れも有り食べきれないほどです。お酒も入り、皆さん寛いでわいわいと話も弾みます。

本当にになにからなにまで山口さん、幹事の皆様、大変ありがとうございました。

インテリアデザイナー協会という日本を代表するインテリアのプロの会でありながら、皆様の温かいお人柄と楽しい雰囲気に触れさせていただき大感謝でした。

今回初参加となりましたが、今後もまたよろしく願いいたします。

楽しい一日をありがとうございました。

思い起こせば・・・

北関東支部会会長 山口慶之助

あれはいつ頃だったろうか。

4人のデザイナーが宇都宮の駅に降り立った。ちょんまげを結い、あれ？どこかで前に会った人だろうかと思わせるほど妙になれなれしい電話をしてきた（妻が大学か何かの古くから友人のような人から電話が・・・と以前話していた）支部長と名乗るそのひとは、JIDからのアンケートの答えを頼りに来たと言う。

そして開口一番、実は自分もデザイナー協会を退会しようと思っていたんだ、と人の心を見透かしたような切り口から始まった。地方の会員や新会員が退会する傾向にあり、その実態を見聞きしたくて来たと言う。

問わず語りについつい自分の話をして、気がついた時には北関東支部という名称とリフォーム支部を立ち上げた面白いのでは・・・などの提案に、すっかり退会の話など忘れる有り様だった。

まあ一度、東京で仲間と飲まないかと引っ込み思案の私を誘う。

後日誘いに応じて新宿で飲むことになる。ビッグネームなのに気さくな理事長や素敵な女性会員たちに心地よい時間を過ごし再会を約す。

大谷石等見学バスツアーの新妻先遣隊長の下調べ、事業推進委員会副委員長鎌田指揮官からの数々の指令を受けて現地特派員は、緊張しながらツアー当日11月9日を迎えることになったのである。

当日の様子は参加会員のどなたかが紹介をしていただけたと思うので、私の担当はこの辺で・・・

佐藤支部長をはじめとし地方の会員にまで目を向けた幹部のかたがたの、その実行力に改めて敬意を表する次第である。楽しい時間をありがとうございました。

JID
NEWS

中部

さあ、パンを食べよう。

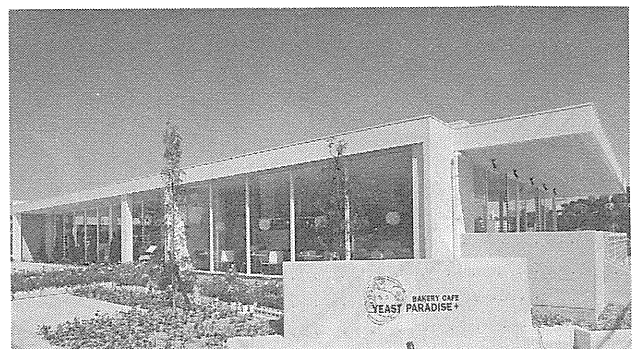
中部事業支部会員 木辺 智子

2002年9月、名東区極楽の東に新しいスタイルのベーカリーカフェがオープンしました。その名「YEAST PARADISE+」メインとなる焼き立てパンのテイクアウトに加えサンドウィッチやデリ、スープ、またはコーヒー、カプチーノなどのテイクアウトも可能。そして店内は2つのスペースにわかれており、シアトル系のセルフサービスカフェと、ゆったりとくつろげるスタイルのカフェをその日の気分によって使い分けられるようになっているのです。もちろんパンのイートインはどちら側でもOK。朝はモーニングセット、昼はパン食べ放題のランチ（ランチボックスも販売）、夕方は軽食&スイーツ、夜はアラカルトと、時間帯に合わせたお食事のサービスも充実。

今回このお店は18年間カフェ・ベーカリーを営む「レイクルーズ」と名古屋カフェブームの火付け役「N. V. カフェ」と私の会社が共同で運営するカフェです。かねがね自宅近くにこんな店がほしいと思っていたのでデザインに力が入りました。どんな年代層にも利用していただけるようにシンプルモダンなイメージで全体をまとめました。進化するカフェということでいろいろな新しい企画で忙しく、自分が好きな空間でのんびりできるな！なんて思っていたのになかなかできません。おかげさまで結構繁盛してましてご好評をいただいています。お近くへいらしたらぜひお寄りください。

BEKERY CAFE YEAST PARADISE+

愛知県日進市竹の山 2002. 9 設計施工物件

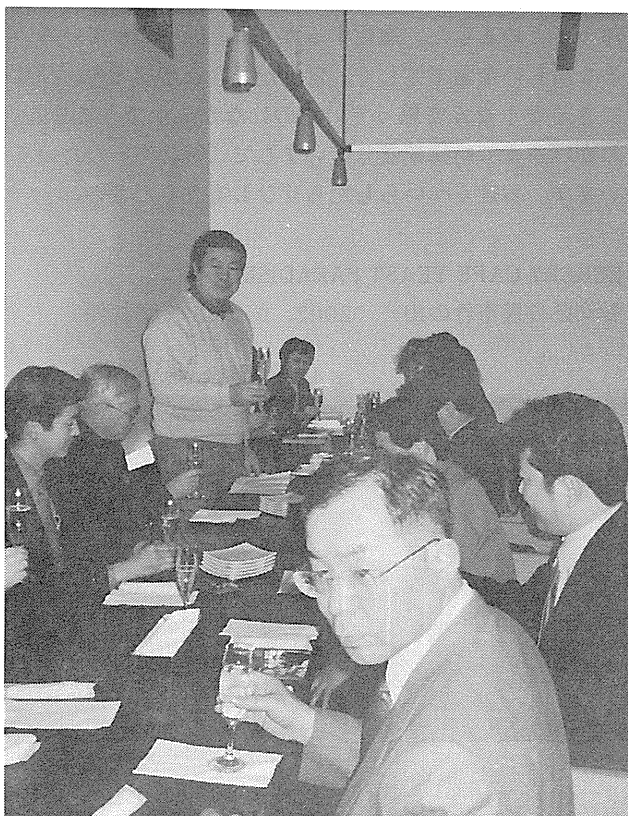


「2003 新年会のお誘い」に参加して

関西事業支部会員 大野 明彦

久しぶりの大阪の夜、今日はJIDの新年会。3年ぶりくらいかな。場所は今流行りのダイニングバーと聞く。少しワクワクして四ツ橋駅に降り立つ。薄暗くなった駅前には既にネオンがちらつきそれらしい雰囲気が出始めている。少しズレた露地に入ると目をひく店が顔を並べている。そしてふと足を止めた店が今夜の酒宴場SOYAであった。ファサードを曲線のアルミバーで覆い、ルーバーの隙間から漏れる明かりがいかにオシャレである。誘われるように中に入ると大胆な2層のオープンバーで、白を基調にしたインテリアは間接照明を要所にうまく使い清楚な雰囲気さえ漂う。ステップ式の客席での場所も落ち着ける。少しずつ関西支部のメンバーも集まり、まずはビールでカンパイ！久しぶりの顔合わせでもありピッチは早い。料理も次々に出てくるがどれも美味しい。うれしいことにオーナーと設計者も出席いただき、楽しい時間と多いに刺激を受けながら2次会へと。

今年はどんな年になるのだろう何しなくても刻々と



モエ・エ・シャンドンで乾杯 清家支部長

過ぎてゆくに違いない。大切な一年にしたいですね。

*JID部門賞を受賞したSOYAで1月15日に見学会を兼ねた新年会が開催されました。大野さんは四国、香川県から御参加下さいました。

「四国巡礼の旅 in さぬき」

関西事業支部交流委員長 西村 太志

今回の交流会は、四国の大野会員の案内で香川県牟礼町の、イサム・ノグチ庭園美術館と丸亀市の猪熊弦一郎美術館を訪ねる、一泊二日の家族旅行のような心あたたまる二日間でした。20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチの晩年のアトリエと住居が一般公開されているそれは、心に焼き付くほどの存在感を持っていましたし、猪熊弦一郎美術館の方は、駅前という立地もさることながら、館内にあるカフェもお洒落でコーヒーも美味しい、そして展示空間、ミュージアム・ショップ、トイレなどなど全て行き届いておりました。丸亀の人たちの宝物、そんな印象でした。初日の大野さん設計のコンセプトハウス「セライ NO.1」の見学会、建坪9坪の小さな家の豊かさを実感しました。夕刻からの海辺近くの奥まった路地先にある簡素な店で食した豪快なカキ焼きは、雰囲気も味も感動ものでした。大野さん本当にありがとうございました。

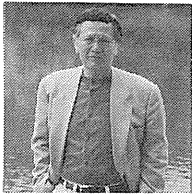
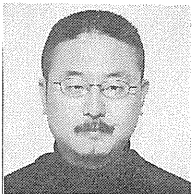


イサム・ノグチアトリエにて

〔 新 入 会 員 の 紹 介 〕

●新しく会員になられた方々です。新しい仲間としてよろしくお願いいたします。

●正会員

会員名及び番号		住 所 及 び 電 話
も ろ はしめ 茂 呂 肇 会員番号 1221 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) モロ建築設計事務所 東京都新宿区高田馬場1-28-7-1006 〒169-0075 TEL 03-3208-5730 FAX 03-3204-7417 xlw 04541@nifty.ne.jp 東京都中野区若宮2-59-14 〒165-0033 TEL・FAX 03-3338-4195 秋山 修治・峰尾 武
くらさわ かずてる 村 澤 一 晃 会員番号 1222 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	千葉県習志野市藤崎6-16-9 〒257-0017 TEL・FAX 047-478-7863 同 上 TEL 047-472-5137 垂水 健造・田中 聡行
さおとめ あさこ 早 乙 女 明 子 会員番号 1223 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	一級建築士事務所(株) ガウディ 東京都江戸川区中葛西3-11-15 〒134-0083 TEL 03-5667-2601 FAX 03-5667-2602 gaudi@gaud.co.jp 東京都江戸川区中葛西5-11-25-1105 〒134-0083 TEL 03-5675-2055 FAX 03-5675-2056 saotome@tkb.att.ne.jp 秋山 修治・峰尾 武

JIDニュース219号の新入会員の紹介欄で、勤務先の社名を間違えて掲載いたしました。ここにお詫びして訂正いたします。

正会員 渡邊 真琴（会員番号1209）

（誤り） グレースー級建築士事務所

（正） グノーシスー級建築士事務所

正会員 宮田 千加（会員番号1210）

（誤り） グレースー級建築士事務所

（正） グノーシスー級建築士事務所

2003/1~2

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報（2003年通巻220号） 2003年3月30日発行

発行所／社団法人 日本インテリアデザイナー協会

発行人／木村戦太郎

〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー8F

TEL 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559

企画・編集／本部情報委員会 制作／be-one